

笑ウせえるすまん

喪黒福造に狙われない生き方・55

ココロの超秘密

松岡清治&ココロのスキマ研究会・編

笑ウせえるすまんココロの超秘密

編 者——松岡清治&ココロのスキマ研究会

発行者——金子晴彦

発行所——株式会社銀河出版

〒171 東京都豊島区池袋4-25-13-302

☎03(5396)1061 (代表)

FAX03(5396)1065

印 刷——凸版印刷株

製 本——株コバヤシ

乱丁・落丁のものは、お取替えいたします。

定価はカバーに表示してあります。

©KOKORO NO SUKIMA Printed in Japan 1994

ISBN4-906436-36-6

笑わせえるすまん ココロの超秘密

喪無福造に狙われない生き方 55

まえがき

ここに取り上げた55人の喪黒福造の被害者は現実にも大勢いる。それはあなたかもしれないし、あなたの友だちかもしれない。

私たちのメンバーも、すべてが裏も表もある欠点だらけの人間である。カッコ悪いところを隠して、のたうちまわって生きている。喪黒福造に狙われたら、ひとたまりもないだろう。そういう人間が集まって書いたのが本書である。

きっかけは他愛のない友人の一言である。「テレビに出てくる喪黒福造を見ているとアタマにくる。憎らしくてヘドを吐きたくなることもあるし、時には絞め殺してやりたくなることもある」——と。

その言葉にひっかった。待てよ。喪黒福造は本当に憎まれてしかるべき人物なのだろうか。悪いのは本当は被害者の方ではないのだろうか。だったら、「喪黒福造に狙われないためにはどうしたらいいのか。きつと処方箋があ

るに違いない」そう考えて、検証を始めたのである。

資料としては、藤子不二雄^①先生の描かれた『笑ウせえるすまん』（中央公論社刊『コミック・スーリ』）四巻を元にした。現在、雑誌『中央公論』に連載中の作品は残念ながら割愛させていただいた。

本書が、喪黒福造に狙われそうなたの「人生案内」になるとしたら幸せである。

さあ、あなたはどのケースが当てはまるだろうか？

平成五年十二月

著者グループ

第1章

ココロのスキマ買います！

——黒い時代の「せえるすまん」(昭和44年〜46年)

- 1 僕、ガールフレンドがいないんです……「ともだち屋」 12
- 2 剃刀を持つと手が震えるんです……「切る」 16
- 3 アバンチュールを楽しみたい……「化けた男」 20
- 4 麻雀の誘惑に勝てなくて困っています……「ザ・ガードマン」 24
- 5 会社のモーレッツ仕事についていけない……「ナマケモノ」 28
- 6 痴漢に間違われた怒れる老人……「チ漢さん」 32

- 7 有名になって売り出したい……「勇気は損気」 36
- 8 運転免許が取れない悲しいパパ……「イージー・ドライバー」 40
- 9 私、見かけ倒しなんです……「たのもし顔」 44
- 10 ホームで出会うあの娘が大好き……「ブラットホームの女」 49
- 11 押入れに入ると安心するのです……「押入れ男」 53
- 12 社内ゴルフ大会が怖い……「ゴルフ入門」 57
- 13 しつこい彼女と手を切りたい……「手切れ屋」 61
- 14 こんなバカにつける薬はない……「白昼夢」 66
- 15 ぼくも男だ、強くなりたい……「空手道」 71
- 16 競馬必勝法を教えて下さい……「的中屋」 75
- 17 こんな私にも、夢があるんです……「夢のあと」 79
- 18 金、金、何かいいバイトはないか……「アルバイトの情報」 83
- 19 天気は良好、何か面白いことはないか……「47階からの眺め」 87

第2章

リストラ時代の救世主か?!

——テレビで甦った喪黒福造(平成2年〜現在)

- 20 会社の帰りに浮気はダメよ……「途中下車」 92
- 21 まっすぐ家に帰りたくないんです……「月下美人」 96
- 22 単身赴任で浮気をしました……「単身赴任」 100
- 23 スタミナドリンクがないとダメなんです……「ケフィア」 104
- 24 いつも謝ってばかりで情けない……「見おろす男」 109
- 25 ゴルフがヘタでバカにされる……「ゴルフフリーク」 113
- 26 若ぶってるのがつらい……「老顔若体」 116
- 27 一夜のアバンチュールがしたい……「温泉奇行」 120
- 28 何をするにも迷ってばかりのグズ……「決断ステッキ」 124
- 29 車の中にいると安心できるんです……「安心カプセル」 127
- 30 デートに誘う女の子が欲しい……「レンタル彼女」 131

- 31 休暇の使い方が分からない……「長期休暇」 134
- 32 家はあっても、家庭がない……「家族あわせ」 138
- 33 この夢、何とかして下さい……「夢に追われる男」 142
- 34 会社が遠く感じられる日があるんです……「日曜クラブ」 146
- 35 懐かしいマンガ本はぼくの命……「マンガニア」 149
- 36 駐車場代が払えないんです……「豪華カーション」 153
- 37 誰かゴルフを教えて下さい……「ゴルフ・ドミノ倒し」 157
- 38 ナマ身の女性より人形の方がスキ……「ドール」 161
- 39 おじいちゃんが欲しい……「シルバーバンク」 166
- 40 看板ガールに惚れました……「看板ガール」 170
- 41 付き合いで、なぜ飲むのですか？……「ブルーアイ・ジャパニーズ」 174
- 42 別に不満はないんですが……「夜行列車」 178
- 43 そこにゴルフ場があるから……「モグリメンバー」 182
- 44 家さえあればガマンもできる……「長距離通勤」 186
- 45 社長だってストレスはたまる……「社長幼稚園」 190

第3章

その笑顔に欺されるな！

——喪黒福造とその周辺の謎

- 46 末は博士か、大臣か……「家庭教師」 194
- 47 専業「主夫」になりたい……「主夫道」 198
- 48 きょうもカラオケ、あすもカラオケ……「夢のカラオケ・ホール」 202
- 49 イイ女を借りて彼女を見返してやる……「ダミー」 206
- 50 姓は丹下、名は左膳……「オールド・シネマ・パラダイス」 211
- 51 たかがゴルフ、されどゴルフ……「イップス病」 215
- 52 厳しすぎます、世の中は……「カンタンの夢枕」 219
- 53 私の掛け金を返して下さい……「ホール・イン・ワン保険」 222
- 54 夜になると下界が眩しいんです……「雲の上と下」 226
- 55 今さら営業は無理なんです……「リストラの男」 230

- Q 喪黒福造の鞆の中には何が入っているのか？ 237
- Q 喪黒福造の素性…生まれ、年齢、職業、血液型、住まい、家族は？ 238
- Q 喪黒福造は本当に親切な人なのか？ 239
- Q 喪黒福造は笑うことは常だが、泣いたことはあるのだろうか？ 239
- Q 喪黒福造の資金源は？ 240
- Q 喪黒福造は「女性」を標的にしないのか？ 241
- Q 喪黒福造の名刺の裏には何を書いてあるのか？ 242
- Q 喪黒福造は気合術をやっているのか？ 243
- Q 喪黒福造は20年前と変わらないか？ 243
- Q B A R「魔の巣」はどこにあるのか？ 245
- Q B A R「魔の巣」のマスターはどんな人か？ 246
- Q 藤子不二雄①先生はブラック・ユーモアが好き？ 247
- Q 喪黒福造のイタズラはどこからの発想？ 249
- Q 登場人物の名前が大変ユニークなんですが…？ 250

第1章

ココロのスキマ買います！

—— 黒い時代の「せえるすまん」(昭和44年～46年)

1 僕、ガールフレンドがいないんです

青井達夫の場合(原作一巻・一)

デートの相手が人形だなんて……!?

青井達夫(22)は商社会社に勤務するサラリーマン。年齢から推察すると、大学を出て入社したばかりのバリバリのフレッシュマンのはずだが、社内には友達ができない。アフタースには女子社員どころか、男性の同僚も誘ってくれない。彼はひとり寂しくアパートに帰って、ボソボソと夕食を食べ、テレビに映る美女にキスするのが関の山である。

そんなところへ喪黒福造が、『ともだち屋』だと名乗って現れ、若い清楚な美人の写真を見せる。美人の名は白木純子。「よかったら、これで付き合ってみて下さい」と言って、喪黒は1台のテレコを差し出す。テープには白木純子の自己紹介と、相手への質問が適当な間隔を置いて吹き込んである。

その日から達夫は、写真とテープの声を相手に、白木純子とのひそやかな会話を楽しむ。そんなある日、白木純子から「夜の新宿西口公園でお待ちしてます」という手紙をもらう。

達夫はいそいそと出掛ける。が、待っていた白木純子は実は人形だった。しかも、何故かけたたましい悲鳴をあげたために、哀れな達夫は痴漢と間違われて、やじ馬たちに取り押さえられてしまう。

《ホーツホツホツホ処方箋》

弱き者よ、汝の名は男なり？

青木達夫みたいに友達のできない内気で孤独な青年が増えているという。マザコン、ロリコン、セックスストレスの青年たちがウロウロしているかと思うと、何やら日本の将来も薄ら寒く思えてくる。

女の子が強くなったというより、男の子が弱くなったのだ（喪黒福造でなくても「しっかりしろ、お前、男だろ！」とイタズラを仕掛けてみたくなる）。

家の中にこもるな、町へ出よ

テレビのブラウン管のアイドルタレントにキスしたり、アニメの美少女キャラクターに欲情を催したりしていると、今にとんでもないことになる。

『書を捨てよ、町へ出よう』という本を出した詩人がいたが、とにかく家を出て雑踏の中

に飛び込むことだ。群衆の中にいると余計に孤独を感じると言うかもしれない。でも、それでいい。うんと孤独を噛みしめることだ。そして、落ち着いて、周囲を見回してみよう。楽しそうに語ったり、歩いているカップルを観察するのだ。そうすると君は気がつく。世の中にはブタ男とブタ子のカップルがいかに多いかということに。

「なあんだ、あの程度だったら、俺にだってできるぞ」と思うに違いない。そういう気持ちが出てきたらしめたもんだ。君もブタ女にアタックしたまえ。なに、ブタ女は厭だって？ 贅沢言うなよ。ブタ女だって、笑ったり泣いたりしない人形よりマシだろう。

❁《喪黒福造 ドーン！の教訓》

青井達夫みたいに孤独で気弱な君。

まず特技を持ちたまえ。ケン玉でもアヤトリでも手品でもいい。そうすれば君は必ず話題の主になれる。女の子も寄ってくるはずだ。

次にお金を稼ぐこと。会社のサラリー以外にバイトをして、女の子と付き合う資金を用意するのだ。そのお金で車を購入して女の子を送ってあげてもいい。食事をご馳走してもいい。そう、アッシー、メッシー、ミツグくんになるところから始めることだよ。ホーツ
ホーツホーツ……！！

《喪黒福造の内緒話》

被害者、青井達夫が人形の白木純子の手紙で誘い出されたのは「新宿西口公園」。

藤子不二雄④先生にとっては、仕事場に近いし、よく散歩される場所だという。アベツクのデートにも使われるが、そういう中で独りポツンとベンチに座っている青年を見て、こういう話を思いつかれたのではないだろうか。（ボヤボヤしていると人形をあてがわれますよ。早くしっかりしなさい）と。

青井達夫など現代でいう「オタク族」の走りの存在。20年前にすでにこういう現象をつかまえておられたのである。

